

早く梅雨が明けて、花火大会、盆踊りなど、夏の風物詩を
留学生の皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

◆ 6月28日、理事会・総会 無事に終了

6月28日（金）は、新体制になってから初めての理事会・総会でした。
全ての審議を滞りなく済ませることができました。お忙しい中ご出席くださった会員の
皆様には心から、お礼申し上げます。ありがとうございました。

『全専日協サイゼンセン』34号では、理事会・総会の様子を中心にご報告いたします。

定刻通り13時に開始された **理事会** に出席したのは、以下の12校でした。

外語ビジネス専門学校
東京外語専門学校
福岡外語専門学校
日本外国語専門学校
横浜デザイン学院
アジア・アフリカ語学院
文化外国語専門学校
中央情報大学校
テクノビジネス横浜保育専門学校
清風情報工科学院
ECC国際外語専門学校
京都コンピュータ学院鴨川校



深堀和子会長の議事のもと、4つの議案について審議を行い、理事の皆様にて承認いただきました。

- 第1号議案 平成30年度事業報告
- 第2号議案 平成30年度決算および監査報告
- 第3号議案 令和元年度収支予算案（修正案）
- 第4号議案 その他 日当等規約

理事会での承認を受けて、14時15分からは、34名の出席者が集まり **総会** が行われました。会に先立ち、深堀和子会長から

「ここ数か月、日本語教育を取り巻く環境は日々大きく変化していますが、会員の皆様からの情報提供や献身的な支援によって何とか対応することができています。ありがとうございます。」



と、挨拶がありました。

議案の審議に入り、**第1号議案 事業報告**については、委員会ごとに報告が行われ、質疑応答も行われました。

総務委員会：武田哲一副会長
情報共有委員会：深堀和子会長
教育研究委員会：古屋和雄理事
学生対策委員会：岩本仁副会長



理事会、総会だけでなく6回もの執行役員会を開き、「日本語教育推進議員連盟」「日本語教育推進法案（仮称）政策要綱」「外国人材受入れ・共生のための総合的対応策」などに対応し続けた一年であると同時に、多くの会員の皆様のご意見やご助言に支えられた一年だったと実感いたしました。

また、「弁論大会」や「優秀学生表彰」などの学生の励みになる事業、入管対応など現場レベルに役立つ情報を提供する「総会企画」などをコツコツと続け、会員から好評をいただいたことも報告されました。

<添付資料1>

第2号議案 決算及び監査報告では、昨年度の会費の運用について西村学事務局長から報告があり、池田俊一監事から監査報告が読み上げられました。<添付資料2>

3月の総会でも収支予算案の大枠は承認いただいていたのですが、その総会と決算の結果を受けて修正された**第3号議案 収支予算案**が次に審議されました。

<添付資料3>

これまでの活動を踏まえ、委員会ごとの予算額に差をつけて、事業がより充実したものになるように工夫したことが西村事務局長から報告されました。

また、今年度は、弁論大会に加え、熊本などでの研修会などを行い、会費を有効に活用していきたいという活動方針も再確認されました。

最後に**第4号議案 その他 日当等規約**について審議されました。

第3号議案でも説明がなされましたが、会費を有効に活用して事業をより充実したものにするの一環として、理事会、執行役員会、会計監査、議員・官公庁への陳情などに手当を導入することが西村事務局長から提案されました。 <添付資料4>

これら4つの議案について、全て、全会一致で承認を得ることができました。



その後、深堀会長の提案で情報交換会となり、以下のようなやり取りが行われました。

- ・日本語教育にネガティブな印象を与える報道への対応を考えるべきだ。
→報道機関や関係者に全専日協の総会企画などで講演してもらうことで接点を作り、私たちの活動を知ってもらってはどうか。
- ・研修等の新規提案をしたい時はどうすればいいか。
→事務局に提案してもらい、執行役員や委員会で検討する。
- ・2019年度全学日協（長沼一彦代表理事）の日本語教師中堅研修が山野美容専門学校で8月24日、10月26日に実施される。
→研修について会員に周知し、希望者を募る。



◆ 総会企画・懇親会の報告は次号にて

総会企画・懇親会の様子は次号にてご報告いたします。現在、講演内容のまとめとその確認作業中です。

法務省の登壇者は当日急きょ稲垣貴裕氏から橋本健太氏に変更されました。

講演 「日本語教育機関の新しい告示基準について」
法務省 出入国在留管理庁 在留管理支援部
在留管理課 留学審査係長
橋本 健太 氏



講演 「日本語教育推進法について」
衆議院議員 元文部科学大臣
日本語教育推進議員連盟 会長代行
中川 正春 氏



講演 シリーズ「私と日本語教育」
全国専門学校日本語教育協会 副会長
東京外語専門学校 理事長 校長
武田 哲一 氏



◆ 福井県教育委員会 生涯学習・文化財課から

「白川静漢字教育賞」への応募のお誘い

7月8日、事務局に福井県教育委員会からメールが届きました。そこには次のように書かれていました。

「『白川静漢字教育賞』の募集にあたりインターネットで検索をしておりましたら、貴会で九州にて漢字教育研修会が行われたことを知りました。その中で、多くの方々が漢字教育に携わりご実践されていることも知りました。そこで漢字教育に関わっておられる方々には是非ご応募いただけないかご連絡させていただいた次第です。」

以下に、応募要領を掲載します。我こそは！という方は是非ご応募ください。

1 対象

新しい指導法や特色ある教材によって、継続的に漢字教育を実践し、成果および努力が認められる個人および団体

(対象となる活動内容)

- ・漢字に関する能力向上を目的として、学校や社会教育で行われる漢字教育実践
- ・漢字文化の普及に向けた教材（映像、デザイン等）や作品（書作品、演劇、文芸等）の制作発表等

2 応募方法

① 申請書(様式1)

② 実践報告書(様式2) 以上、2点の提出

※福井県のホームページ↓からダウンロードできます。

<http://www.pref.fukui.jp/doc/syoubun/shirakawa/kannjikyoushou7.html>

※応募後の審査状況や選考結果に関するお問い合わせには応じられません。

※添付いただきました資料はお返しいたしません。

ただし、返却を希望される方には表彰式後に返却いたします。

3 応募締切

令和元年9月13日(金) 消印有効

4 表彰

最優秀賞 副賞5万円

優秀賞 副賞1万円

5 表彰式および実践発表

令和元年11月頃

<お問い合わせ>

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県教育庁生涯学習・文化財課

TEL:0776-20-0559 Fax:0776-20-0672

Email: syoubun@pref.fukui.lg.jp

2018年1月に行った福岡での漢字教育の研修会が思いがけない形でこのようなお誘いにつながりました。大変喜ばしいことです。

最後に

九州南部など各地で豪雨による災害が発生しておりますこと、お見舞い申し上げます。

何かお困りのことがあれば、事務局までご連絡ください。

できる限り、お力になりたいと存じます。

2019年7月9日

全国専門学校日本語教育協会

ニュースレター担当